

# 「マムシ咬傷に対する抗毒素血清療法の有用性についての調査」

## 医学情報の研究利用について

近畿大学医学部附属病院救命救急センターでは、このたび『マムシ咬傷に対する抗毒素血清の治療の有用性についての調査』を全国 70 余りの施設と共同で研究を行うこととなり、本院も本研究に参加することとなりました。調査対象になるのは、平成 23 年 1 月から平成 28 年 10 月までにマムシ咬傷後に本院の高度救命救急センターに搬送された患者さまです。

調査項目は、年齢、性別、受傷部位、抗毒素血清を中心とした治療方法、臨床経過、入院日数、予後です。これらの調査項目はすべて既存のデータのみであり、データ上すべての患者さまは匿名化されます。したがって、お名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何らかの負担が生じることもありませんのでご安心下さい。当施設を含む全国の施設から集められたデータは、近畿大学医学部救急医学教室において解析を行います。データについては、研究期間中(平成 29 年 3 月から平成 30 年 5 月)は、厳重に管理され、研究終了後に紙媒体の資料・電子データは 5 年間保存します。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで発表されることがありますが、公開内容には個人情報を含みません。

本研究の調査対象になりうるマムシ咬傷により受診された患者さまで、調査に同意されない方はお申し出下さい。このお知らせは平成 29 年 5 月 1 日より平成 29 年 10 月 31 日まで佐賀大学医学部附属病院ホームページ及び院内ポスターに掲載されます。

この件に関しまして、ご質問などがございましたら、下記研究代表者に遠慮なくお尋ね下さい。本研究の調査対象になりうる患者さまで調査に同意されない方はお申し出下さい。

研究代表者

佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター

三池 徹

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島 5 - 1 - 1

電話：0952-31-6511